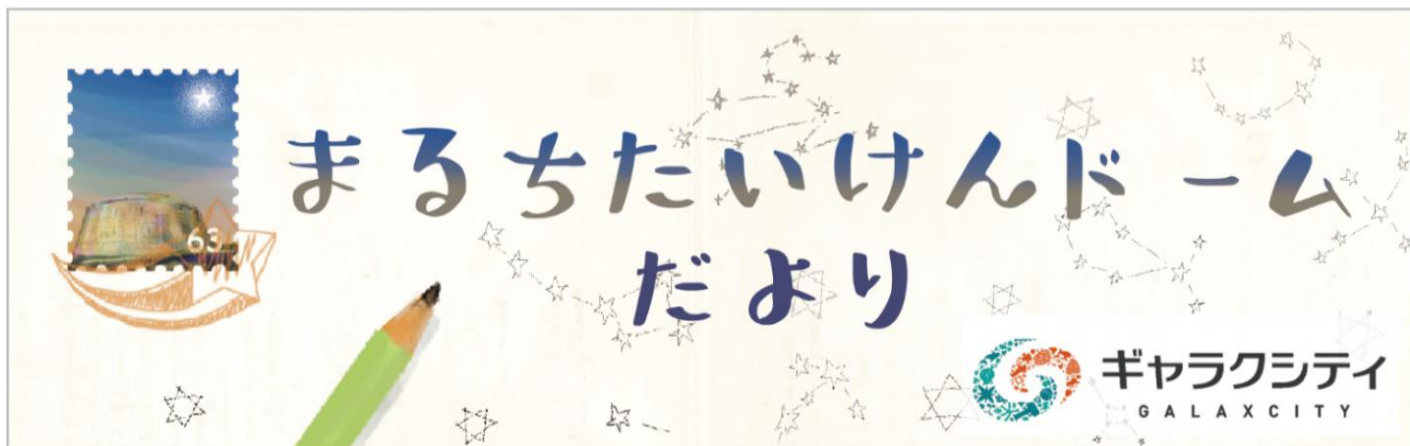




月面Xを見よう！

月の表面は太陽の光に^て照らされた部分は明るく^{かがや}輝き、光の当たらない部分は黒く見えて夜空の暗さにとけ^こ込んでいるように見えます。

天体望遠鏡で^{てんたいぼうえんきょう}観察すると月面の地形がわかり、デコボコして^{いんしょう}いる印象を受けます。

丸いかたちのクレーターや山が^{つら}連なった山脈^{さんみやく}などが見られ、さらに^{かんさつ}観察していくとクレーター^{なか}の中にクレーターがあつたり、広い平原のような表面がやや黒みがかつた「海」と呼ばれる地形や谷なども見ることができます。



月面X 撮影：当館解説員 足田純之



月面に見える様々な模様 撮影：田中千秋

月の輝いている部分と影^{かげ}になって見えない部分との境^{さかい}の部分を観察すると、いろんな文字に似た模様や^に宙^{もよう}に浮いたように見える地形など、様々な形を見ることができます。

その中に4月19日午後9時前後にはアルファベットのXに似た模様を見ることができます。

そのほかにもL、O、V、Eに似た模様も確認できます。

月の地形に太陽の光が当たる角度のわずかな^{ちが}違いで見え方にちがいが出てきます。じっさいに天体望遠鏡で^{さまざま}様々な地形や月の満ち欠けなどを観察してみましょう。

(解説員：田中千秋)